

# レクリエーションかながわ スコレ

## 第64号

発行日 平成18年6月25日  
 発行 特定非営利活動法人  
 神奈川県レクリエーション協会  
 編集 広報委員会  
 事務局 〒221-0855  
 横浜市神奈川区三ツ沢西町3-1  
 神奈川県立スポーツ会館内  
 電話 (045) 320-2430  
 F A X (045) 320-0640  
<http://www.kanagawa-rec.or.jp/>

やっぴがたたしく活動 学んでよがたたしく運動 もってよがたたこの仲間

### 新任のご挨拶

特定非営利活動法人 神奈川県レクリエーション協会



会長 佐藤誠治

る3033(サンマルサンサン)運動の推進やレクリエーション・ニュースポーツの推進が重要課題として考えられています。

初夏を迎えましたが、それぞれの地域で、活発にレクリエーション活動が展開されていることに喜びを感じます。

近年、子どもの体力向上、高齢者の健康づくり、団塊世代対策などが社会的テーマになっています。その取り組みとして、神奈川県では生涯を通じてスポーツ活動の推進として、「きらきらプロジェクト(子どもスポーツ活動の推進)」「わくわくプロジェクト(みんなのスポーツ活動の推進)」「いきいきプロジェクト(中高年のスポーツ活動の推進)」をアクティブかながわ・スポーツビジョンとしてスポーツ振興指針に位置づけています。

その中ですでに皆様が実践しています。

話が飛びますが、今話題になっている動脈硬化を引き起こすメタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)は、不規則な食事や食べ過ぎ、運動不足、ストレス、過度な飲酒など毎日の不健康な生活習慣の積み重ねの結果で起きるといわれています。

予防するには、生活習慣を改善し内臓脂肪を減らすことが大切だそうです。従って、レクリエーション活動等の軽い有酸素運動を一回三十分以上が週に二日ないし三日は必要といわれています。

私といたしましては、それら県のスポーツ振興指針をふまえて三枝前会長の路線を引き継ぎながら、ご承認いただいている十八年度事業計画の趣旨、内容について効果的に遂行していくことが務めであると考えています。

います。

来年度は協会設立五十周年を迎えます。五十周年事業として記念誌の発行と記念式典の開催、及び事業の二環として本県で開催することになっていきます「第六十一回全国レクリエーション大会」の成功に向けての準備に全力を挙げて取り組んでまいります。

また、そのような取り組みの中で、急速に進む社会的変化の流れにも対応するレクリエーション活動の重要性を認識し、事業の展開と関係機関団体等との連携や協働を図りながら県民に信頼され、愛される協会に発展するよう努力いたします。

つまるところ本協会は、県民一人ひとりの心身の健康とやすらぎと活力に充ちた、豊かな生活の形成と社会づくりに寄与することであります。皆様のご理解とご協力を賜りたくよろしくお願い申し上げます。

#### 自己紹介

神奈川県教育委員会体育課長、県立横浜緑ヶ丘高等学校校長、県立体育センター所長、愛川ふれあいの村事務所長、神奈川県情報通信専門学校校長、日本体育大学非常勤講師、特定非営利活動法人神奈川県レクリエーション協会理事を歴任。

# 平成18年度事業方針決まる!

3月18日(土) 横浜万国橋会議センターにおいて平成17年度第2回総会が開催され、新役員および18年度事業方針・計画・予算などが可決承認されました。

## 平成18年度事業方針

本協会は来年度、設立50周年を迎えます。設立当時は民踊・ダンス・ゲームを中心に女性団体や青年団体等を中心に、社会教育活動の一つとして普及啓発が行われ、高度成長期には職域、地域、学校等の領域におけるレクリエーション活動の導入と指導者養成に力を注ぎ、組織運営については国及び地方公共団体の強力な指導と支援により運動が展開され

ました。

近年は高齢者支援、子育て支援等の福祉領域や医療領域をはじめ、文部科学省が提唱する「総合型地域スポーツクラブ」の支援等さまざまな領域で、レクリエーション運動が必要とされています。

そこで、私たちも長年にわたる知識と経験、及びその組織力を活かしながら従来のレクリエーション活動にとどまることなく、急速に変化する社会環境に対応していけるよう、

一層努力する必要があります。

本年度は平成16年度からの重点施策、新しい市民社会形成の担い手としてより専門性の高い領域別指導者の養成と活動を支える支援者の養成をさらに強化し、社会的ニーズに沿った事業展開と関係機関団体等との連携や協働を図ることを重点目標として、国際社会並びに地域社会へ貢献していくよう力を尽くします。

また、財政基盤の確立を図るため、会員数の増強を図るとともに賛助会員の確保についてもさらに積極的に対策を講じるとともに、来年度3回目の本県開催となる「第61回全国レクリエーション大会INかながわ」を中心に50周年記念事業を推進します。

## 平成十八・十九年度役員

会長	佐藤相若	藤崎川木島	誠明 一	治弘健美
副会長	桑寺難門	澤波松海	博一茂幸	美豊昭尚
理事長	内加井	藤上井倉	沙彌	昭尚雄子
副理事長	碓米加渡	藤辺島	菊妃一利	子桂進郎
理事	小秋長	谷川野	愛忠良	子善明子
理事	波藤岸	野枝橋	和正忠	子信子
理事	三倉玉	野橋野	則哲英	子晴一
理事	茅石岡	原本渡	春正眞	夫一男
理事	石壁	谷	利	喜澄之
監事				
監事				

## 新年度の専門委員

### 生涯スポーツ推進委員会

委員長 吉川裕治  
副委員長 乃美寿美子



伊藤しのぶ  
平井文明  
宮崎かよ子  
大沼広哉

### 地域活動支援委員会

委員長 国原伸郎  
副委員長 高桑克吉

宮崎恵美子

### レクリエーション・インストラクター養成委員会

委員長 寺井英二  
副委員長 佐藤裕洋



別府和子  
榑測好子  
西海幸枝

### 広報委員会

委員長 磯 隆司  
副委員長 北神ひろ子

新鞍みどり  
道坂秀雄  
浦井富士夫

### IT委員会

委員長 桑島 豊  
副委員長 飯塚佳子

林 賀代

### LT委員会

委員長 小泉八重子  
副委員長 青木美枝子



池野三義  
強矢節子  
大越政志

# 新年度の事業計画

## 1 レクリエーション活動の普及・奨励

市民のレクリエーション活動に対する理解と関心を高め、健全なる発展を図るため加盟団体との連携協力によりレクリエーション活動の普及・奨励を図ります。

財団法人日本レクリエーション協会事業支援制度の活用により、加盟地域協会及び登録資格者とともに市民サービスタイプレクリエーションを推進します。

## 2 レクリエーションに関する大会等の開催

加盟団体を中心となり、全県的なスポーツ・レクリエーション大会を実施することにより多くの市民の参加を促しスポーツ・レクリエーションの日常定着化を目標に、健康で生きがいを実感できる、希望に満ちた生活を創造することを目的に開催します。

### かながわスポーツレクリエーション大会

湘南方面 平成18年8月6日(日)

会場 藤沢市方面

県央方面 平成18年10月9日(月祝)

会場 海老名市方面

チャレンジ・ザ・ゲーム2006

INかながわ

横浜方面 平成18年7月1日(土)

会場 横浜市方面

神奈川県レクリエーション協会

功労者表彰式

平成19年1月20日(土)

会場 横浜市内

## 3 レクリエーションに関する指導者の養成研修・資格検定・登録

さまざまな領域で運動を支える指導者を養成します。

### レクリエーションインストラクター

養成講座

平成18年6月11日(日)

～10月1日(日) 全11回

日本レクリエーション協会公認資格者フォローアップ・スキルアップ

研修事業

平成18年9月3日(日)

会場 藤沢市方面

平成18年11月5日(日)

会場 藤沢市方面

平成19年2月4日(日)

会場 横浜市方面

生涯スポーツ指導者、チャレンジ・ザ・ゲーム普及審判員等養成講習会

平成19年3月25日(日)

会場 横浜方面

関係機関団体等が開催する各種研修事業会議等への参加を呼びかけます。

## 4 レクリエーションに関する未組織市町村、地域協会への支援活動

県下全域、通年

県下全域、通年

## 5 レクリエーションに関する調査・研究・啓発・宣伝活動

機関紙「スコール」の発行

平成18年9月20日・1月1日

平成19年3月20日

神奈川レクニューズレターの発行

(随時)

ホームページの管理運営

(随時)

## 6 レクリエーションに関する関係諸団体との連絡・調整・協力

第60回全国レクリエーション大会への参加

平成18年9月16日(土)

～18日(月祝) 青森県

第19回全国スポーツ・レクリエーション祭

平成18年10月21日(土)

～24日(火) 鳥取県

池子米軍家族住宅市民友好事業

(friendship day)への協力

平成18年9月

逗子市池子

関係機関団体等が開催する各種事業・会議等への参加及び派遣

## 7 レクリエーション活動をとおしての青少年の健全育成活動

関係諸団体、国際協力NGO等との連携や協力、指導者は検討を推進します。

関係諸団体、国際協力NGO等との連携や協力、指導者は検討を推進します。

## 8 第61回全国レクリエーション大会INかながわ実行委員会の設置

平成18年4月

～平成19年3月

## 9 諸会議の開催

総会の開催

平成18年6月3日(土)

平成19年3月17日(土)

理事会の開催

平成18年5月13日(土)

平成18年9月30日(土)

平成19年3月3日(土)

加盟団体代表者会議の開催

平成18年6月17日(土)

加盟団体事務局担当者会議の開催

平成18年4月22日(土)

平成18年11月11日(土)

課程認定校事務担当教職員

合同会議の開催

平成18年7月1日(土)

平成18年12月1日(金)

委員長会議の開催

平成18年4月20日(木)

平成18年7月14日(金)

平成18年10月17日(火)

平成19年2月7日(水)

委員会の開催

平成18年6月20日(火)

平成19年2月15日(木)

認定委員会

平成18年4月6日(日)

生涯スポーツ推進委員会

平成18年4月6日(日)

地域活動支援委員会(年4～6回)

レクリエーションインストラクター養成委員会(年6～10回)

広報委員会(年6～12回)

IT (Information technology) 推進委員会(年4～6回)

LT (Leadership training) 委員会(年4～6回)

その他委員会

協会設立50周年事業の推進

協会設立50周年事業特別委員会



## 課程認定校だより

学校法人三幸学園

## 横浜リゾート&amp;スポーツ専門学校

レクリエーション事務担当 栗林美津

私ども学校法人三幸学園横浜リゾート&スポーツ専門学校は、全国に二十三校の姉妹校を持ち、医療・美容・スポーツの三本柱から社会に貢献できる人材育成を目指しております。「技能と心の調和」を教育理念におき、スポーツをずる人を支え、スポーツの楽しさを伝え、スポーツの重要性を説く優れたアドバイザーを社会に輩出していきたくと考えております。

本校ではレクリエーションインストラクターをはじめ、財団法人日本体育協会認定アスレティックトレーナー資格、日本スポーツインストラクター教育協議会主催フットネスインストラクター検定、厚生労働省認定保育士資格、文部科学省認定幼稚園教諭二種資格等数多くの資格を取得することが出来ます。

中でもレクリエーションは、初対面の人の心をほぐし、運動が苦手な人から得意な人、子どもからお年寄りまで幅広い年代の人が楽しめる、就職後の活躍には必要不可

平成19年11月上旬開催の  
第61回全国レクリエーション大会

## INかながわの準備状況！

去る2月1日の準備委員会設立以後、(財)日本レクリエーション協会の指導のもと、「第61回全国レクリエーション大会INかながわ」準備委員会事務局が中心となり、(財)日本レクリエーション協会指導のもと、開催内容・準備組織や推進計画等を中心に検討を進めてきました。概要は次のとおりです。

## ① 総合開会式

会場は、「交通アクセス、収容人員、施設・設備、周辺環境」を視野に入れて、現在、横浜市内の施設に焦点を絞り、調整中です。また、内容についても、専門部会で検討を進めています。

## ② 交歓の夕べ

会場および内容について、専門部会で検討していきます。

## ③ 種目別全国交流大会

(財)日本レクリエーション協会加盟種目団体の内、現在、18団体23種目が参画の意向を示しています。会場をどのように割振るかについて、参画希望種目団体説明会・参画希望最終調査・会場下見・企画書提出を経て、参加種目団体及び会場が決定(8月上旬予定)します。

## ④ 研究フォーラム

参加者が複数のセッションに参加できるよう、また会場までの交通アクセスや付帯設備が完備していることを前提とし、現在横浜市内の施設と交渉中です。なお、テーマや具体的な準備については、専門部会で検討

## ⑤ 閉会式

会場は開会式の選定条件と同様に、横浜市内の該当する施設に絞って交渉中です。内容については専門部会で検討していきます。

## ☆ 準備(推進) 組織

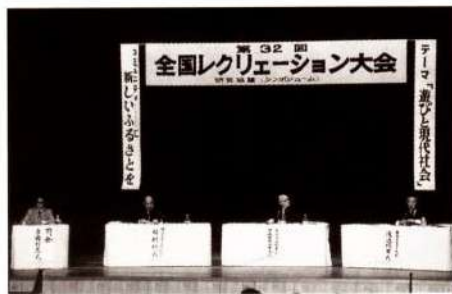
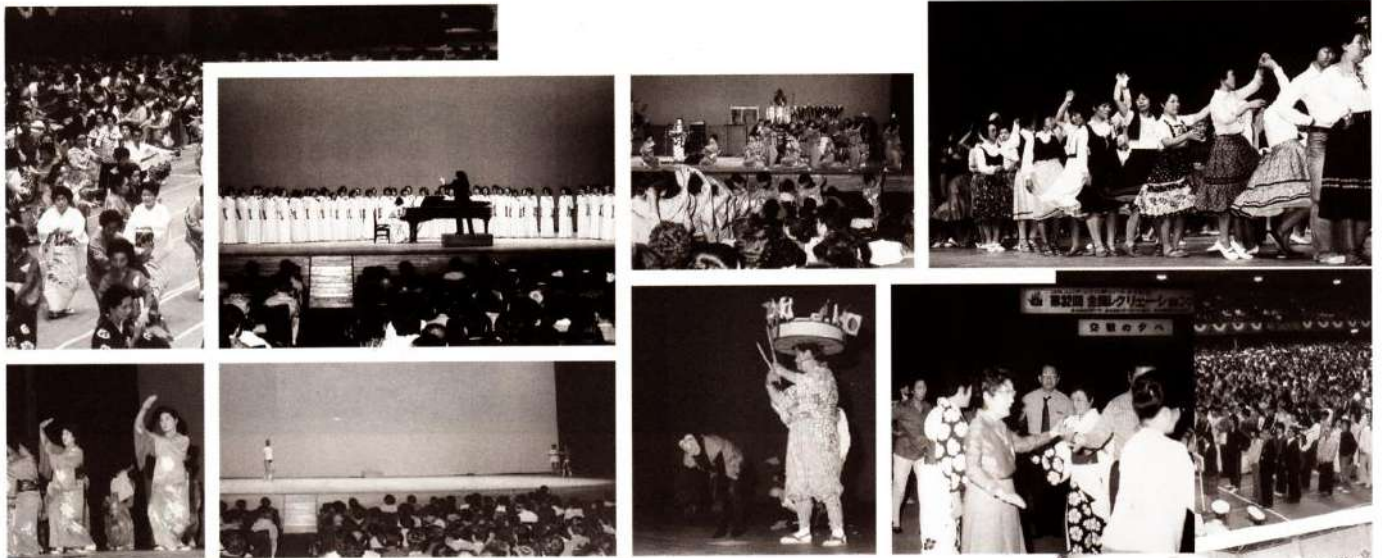
本年2月1日、「第61回全国レクリエーション大会INかながわ」準備委員会が設立しました。今後、第2回準備委員会の開催を経て実行委員会(準備委員会は解散)を設立します。また平行して運営委員会および専門部会(ワーキンググループ)を立上げ、さらに具体的な検討や準備を進めます。

## ☆ 準備(推進) 計画の策定

本県では平成17年から大会準備事務局会議を設置し、(財)日本レクリエーション協会の指導のもと、準備作業や計画の策定を進めてきました。準備は順調に進んでおり、現在最後の調整作業にあたっています。また、大会予算・企業協賛・大会スローガンの募集についても、平行して準備を進めています。

## ☆ 開催への協力や支援について

3日間の開催となる本大会は多くの人々の協力や支援なしには開催できません。県内には多数のレクリエーション指導者や、ボランティア活動者があります。第61回全国レクリエーション大会が成功裡に終了するよう多くの方々のご協力をお願いいたします。詳細は後日、広報(誌)や神奈川県レクリエーション協会のホームページ等でお知らせしますが、多数の方々のご協力をお待ちしています。



写真で  
見る

# 第32回 全国レクリエーション大会

来年、本県で開催が予定されている第61回大会は第13回大会(昭和34年)と第32回大会(昭和53年)に続いて3回目となりますが、前回の32回大会の様子を写真で振り返ってみました。  
 なお、当時のプログラム等も紹介いたします。

## プログラム

〔第1日目〕 日時 10月6日(金)  
 会場 県民ホール

- 開会式  
 表彰式を含む、県警音楽隊によるドリル演奏  
 オリエンテーション
- 記念講演
- アトラクション  
 神奈川の紹介、郷土芸能、民謡、フォークダンス  
 その他

〔第2日目〕 日時 10月7日(土)  
 会場 横浜、川崎、鎌倉

- 地域別実践活動  
 神奈川の歴史と文化を訪ねて  
 国際文化とのふれあい (横浜)  
 科学文化とのふれあい (川崎)  
 歴史的な文化とのふれあい (鎌倉)
- 専門種目別実践活動  
 フォークダンスコース、スクエアダンスコース  
 より高く より広く より楽しく
- 交歓の夕べ

〔第3日目〕 日時 10月8日(日)  
 会場 横浜(横浜スタジアム・文化体育館他)

- 実践活動  
 民謡のつどい、サイクリングのつどい  
 婦人スポーツのつどい、フォークダンスのつどい  
 スクエアダンスのつどい、老人スポーツのつどい  
 みんなで歩こう、少年少女スポーツのつどい



写真提供：(財)日本レクリエーション協会

## 城山町 第5回ふれあいレクリエーション大会開催される!



さる、3月19日(日)第5回目の大会が開催され、楽しい1日を過ごしました。(参加者数 18団体1,096名)

### 健康体操講座

#### 参加者募集中!

いつまでも若さを保つために

#### 1回目(転倒予防)

「手足のびのび・気分も爽快」

平成18年7月6日(木)

午後7時~9時

●会場 活動サポートセンター404号室

#### 2回目(生活習慣病予防)

「動いて笑って介護予防」

平成18年7月20日(木)

午後7時~9時

●会場 活動サポートセンター405号室

#### 3回目(骨粗鬆症予防)

「運動で丈夫な骨づくり」

平成18年7月27日(木)

午後7時~9時

●会場 活動サポートセンター406号室

#### 【講師】

日本体育協会及び日本体育施設協会公認  
スポーツプログラマー 橋高靖子 氏  
青木美枝子 氏

#### 【参加費】

1回 800円 3回で2千円

#### 【定員】30名

※3回参加された方には記念品を差し上げます。

#### 【問い合わせ】

NPO法人神奈川県レクリエーション協会  
研修担当 L.T.リーターシップトレーニング委員会  
電話 045-320-2430

平成18年度  
公認指導者フォローアップ研修  
シヨートプログラム

### 協会活動報告(4月以降分)

#### ★第1回委員長会議

4月20日(木)

かながわ県民活動サポートセンター

#### ★加盟団体事務局担当者会議

4月22日(土) 県立スポーツ会館

#### ★理事会

5月13日(土) 県立スポーツ会館

#### ★総会

6月3日(土) 県立スポーツ会館

#### ★かながわレクスクール開講式

6月11日(日) 県立体育センター

#### ★加盟団体代表者会議

6月17日(土)

#### ★かながわレクスクール宿泊研修

6月17~18日(土日)

#### ★県立清川青少年の家

6月20日(火)

#### ★選考委員会

かながわ県民活動サポートセンター

### 《今後の予定》

#### ☆チャレンジ・ザ・ゲーム2006

7月1日(土) 県立スポーツ会館

#### ☆課程認定校事務担当者教職員会議

7月1日(土) 横浜 崎陽軒

#### ☆第2回委員長会議

7月14日(金)

#### ☆かながわ県民活動サポートセンター

8月6日(日)

#### ☆湘南会場

県立体育センター



全国レク大会の大会スローガンは、時代のニーズを物語る

資料によれば大会テーマが初めて設定されたのは第3回大会(昭和24年)からで、以後21回大会まで「平和・中小企業・人間形成・勤労青年・生産活動・レジャー・自然」等という言葉が数多く目につきます。第22回大会(昭和43年)から45回大会までは「生活環境・コミュニティ・ふるさと、心・未来・国際化」等と言葉に変化が見られます。46回大会(平成4年)からは、スタイルを変え五・七・五調のスローガンが作成されるようになりました。

大会スローガンを見ると、その時代のニーズが分かりますね。(全国レク事務局T・T)

### 編集後記

雨の季節になりましたが、皆様にはお元気で活動のこととしたいと思います。現在ドイツでは4年に一度の「サッカーWカップ」が開催され、日本からもサポーターが出かけています。後に残った私達も、テレビの前で声援を送り、少し寝不足気味の方もおられるのではないのでしょうか。

いつも「スコレ」をご愛読頂きありがとうございます。広報委員会メンバーの一部が変わり、また新たな気持ちで頑張っていきますので、これからもよろしくお願ひ申し上げます。

北神ひろ子